

令和 2 年度 事業報告

今年度（令和 2 年度）は、全世界に拡大していた新型コロナウイルス感染症に変異株が現れるなど新たな様相を見せ、国内においても第 1 波、第 2 波、第 3 波と全国的規模で感染が中断なく広まり、国民生活を始め社会経済活動は深刻な事態に至り、年度最終期には第 4 波の到来がほぼ確実視されるような状況で終了することとなりました。

このような事態の中で、種々多様にわたる協会事業について、実施の可否・適否、実施する場合の感染回避対策などについてパートナーの皆様とも協議検討し、中止又は延期のやむなきに至る事業も少なからず生じました。

<<事業>>

1 基幹的事業

(1) 会館の利用者への感染防止対策の徹底

当会館は、会員・組合員の広範な活動の拠点として、この事業報告書に記載のとおり、種々の事務事業に使用されており、これら関係者の新型コロナ感染症の感染を予防するため、可能な限りの対応策を講じました。

a. ハード面での対応

カウンタースタンド（4 台）、非接触式検知器（1 台）、非接触型温度計（1 個）、アクリルパーテーション（2 台）の設置と高品質アルコール消毒液（5 か所）とマスクの常備。

b. ソフト面での対応

<感染防止対策の徹底>方針を策定し、研修等の事業はこれに基づき実施しました。

(2) 全国ビルメンテナンス協会通常総会の開催延期

令和 2 年 7 月 6 日に開催予定の全国ビルメンテナンス協会通常総会に向け、徳島色を出すことに配慮する等計画的に準備を進めたところですが、新型感染症の影響により、2022 年（令和 4 年）に延期されました。

(3) 作業従事者研修

着実に業務品質の維持向上を図っていくため、次のとおり実施しました。

a 清掃作業従事者集合研修会

前期講習会については、当会館ほか4箇所で、次のとおり実施し、165人が修了しました。

- ・前期（令和2年11月10日(火)～14日(土)、12日(木)、18日(水)25日(水)、12月1日(火)の8日間)

〈ホームページコメント 長池裕司講師〉

- ・後期の研修会については、新型コロナウイルスの状況を踏まえ、中止しました。

b 防除作業従事者研修会

令和3年2月24日(水)に当会館で開催し、17名が修了しました。

〈ホームページコメント 竹田詩朗講師〉

c 貯水槽清掃作業従事者研修会

令和3年2月25日(木)に当会館で開催し、14名が修了しました。

〈ホームページコメント 小出智彦講師〉

(4) 安全衛生大会

「労災の防止は当協会の最重要事項」との認識の下、次のとおり実施しました。

- ・期 日 令和3年2月8日(月)
- ・場 所 徳島ビルメンテナンス会館

・労働災害無事故企業表彰

優 良 賞（1年間無事故）・・・ 4社

優 秀 賞（3年間無事故）・・・ 1社

特別優秀賞（5年間無事故）・・・ 1社

- ・講 演 『ビルメン業の労働災害発生状況について』
『知っておきたいSDGsとビジネス』

・大会宣言

- ・参加者 18社 22名

〈ホームページコメント 三好労働安全衛生委員長〉

(5) 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う会費の減額措置

新型コロナウイルス感染症に会員が連帯して対応するとの意味を込め、全国協会と同様の会費減額措置（3ヶ月間、5,000円減額）をとることとしました。

2 地域貢献／地域連携事業

(1) 大規模災害への対応について

災害協定に基づく責務に適切に対応するため、防災の専門機関である防災人材育成センターと連携支援のあり方などについて意見情報交換を進め、その成果の一つとして、同センターが企画主催する次の事業に参画しました。

- a 令和2年度 第1回「知っておきたい防災講座」
- ・日 時 令和2年9月13日（日）14時～15時まで
 - ・場 所 徳島県立防災センター 1階講堂
 - ・内 容 『避難所の衛生管理』
講師 長池常務理事
 - ・参加者 菊池会長 多田副会長 古田青年部顧問
岡田洋治 大森卓也 菊池周平 庄野浩史の各氏
- b 「災害時のトイレ事情展」
- ・期 間 令和2年8月29日（土）～10月4日（日）
 - ・場 所 徳島県立防災センター
板野郡北島町鯛浜字大西 165 番地
 - ・内 容 ブースを設け、啓発用器具などを展示
〈ホームページコメント 長池常務理事〉

(2) 特別支援学校就業体験学習の支援

県教育委員会と行っている多様な連携事業の中核をなす事業で、平成27年度から実施しています。今年度は、前3年度に続き前期と後期の2期に亘り実施しました。この結果、延べ14人の生徒さんが、9社12施設で、延べ35週間に亘り学習しました。また、生徒さん、学校長からは、心温まる感謝状をいただきました。

〈ホームページコメント 中村郁郎地域支援委員長〉

(3) アビリンピック徳島大会（ビルクリーニング部門）

平成26年度よりこの大会に参画し、今回で7回目となります。

昨年度同様、県・教育委員会の幹部の方々にもお越しいただき、意見情報交換を行うなど連携活動として定着したといえます。

- ・日 時 令和2年9月19日（土）
 - ・場 所 徳島ビルメンテナンス会館3階
 - ・参加者 特別支援学校生徒 8名
会員企業従業員 1名
 - ・審査員 長池常務理事 古田協会講師 竹田協会講師 逢坂協会講師
- 〈ホームページコメント 中村郁郎地域支援委員長〉

(4) NPO法人との連携事業

ア 清掃講習会

NPO法人とくしま障がい者就労支援協議会との連携事業として、清掃講習会を次のとおり実施しました。一昨年度から開始し今回で4回目となる事業で、対象を新型コロナウイルスに特化し、実りの多い講習会となりました。

- ・日 時 令和2年10月26日(月)
- ・場 所 徳島ビルメンテナンス会館3階
- ・講 師 長池常務理事
- ・参加者 就労協 会員施設関係者 事務局職員9名
徳島県 障害福祉課 課長ほか1名
特別支援教育課 課長ほか1名
当協会 菊池会長 多田副会長 鎌田参与 一宮事務局長

イ パートナー会の開催

清掃研修の進め方などについて率直に意見情報交換を行い、その結果、当面の展開については、新型コロナウイルスの問題があり、作業現場で直接にサービス利用者を指導するのが困難であることから、会館にてビデオ研修くらいから始めるのが適切とされました。現在の取組みは全国の先進モデルとの自覚を持ちつつ、着実に連携の具体化を進めていくこととしました。

- ・日 時 令和3年1月29日(金)
- ・場 所 徳島ビルメンテナンス会館
- ・参加者 就労協 理事長 担当理事など6名
当協会 菊池会長 多田副会長 長池常務理事
中村郁郎理事 一宮事務局長

(5) eーとくしま推進財団によるキャリア教育出前事業に応募

eー財団から募集があった事業内容は、当協会が現在進めている地域連携事業と方向性や内容が一致するため、この事業に参加することとしました。

これにより、連携の範囲の拡大、小学校を通じての地域へのビルメンテナンス業のPR等が可能となり、知名度の向上、将来の働き手の確保、県へのアピール等の効果が期待されます。

- ・対 象 小学生
- ・担任項目 「ビルは生きている なぜビルメンテナンスは必要なのか」

(6) 令和2年度「シルバー人材センター受託「清掃スタッフ養成講座」

この室内清掃講習は、(公財)徳島県シルバー人材センター連合会が高年齢者を対象に、就職等を目的として必要な技能の習得を図るために行う各種講習の一環で、

令和2年度は次のとおり実施されました。

《徳島》

- ・期 日 令和2年9月14日(月)～17日(木)まで
- ・場 所 徳島ビルメンテナンス会館3階
- ・講 師 長池常務理事 古田青年部顧問 飯田協会講師
大森協会講師 長池祐司協会講師
〈ホームページコメント 大森協会講師〉

《三好》

- ・期 日 令和2年12月7日(月)～10日(木)まで
- ・場 所 公益財団法人 三好市シルバー人材センター
- ・講 師 古田青年部顧問 飯田協会講師 大森協会講師
岡田協会講師 長池裕司協会講師 三好協会講師
〈ホームページコメント 三好協会講師〉

(7) 月刊「ビルメン」に当協会関連記事が掲載されました。

2020年7月号「ビルメンだより」に、「行政・地域パートナーと連携し、障がい者就労支援・災害対策について意見交換」との標題で、県・教育委員会の4課長と防災人材センター所長との意見交換会についてそれぞれの模様が紹介されました。全国的に見てもほとんど例のない取組みであることによるもので、今回で、このコーナーへの掲載は、3回目となります。

(8) (公財) 徳島勤労者福祉ネットワークのHPにて当協会が紹介されました。

このHPの「スマートライフ応援隊」ーwith コロナ徳島モデルオフィス事業ーで、「モデル的経営を実施する事業所16」の一つとして、「他社や地域との連携・協働を重視するタイプ」の事業所として紹介されました。今後ともビルメンテナンス業の在り方を問いつつ、地道な努力を重ねていくこととします。

(9) 事業の中止

次の事業については、毎年度開催され、当協会は毎回参加してきましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念され、中止されました。

ア ゆめチャレンジフェア

このフェアは、平成26年度より毎年度2回開催され、協会はスタート年度の後期から参加しています。

イ とくしま特別支援学校技能甲子園

平成29年度から実施しているもので、各学校の技能検定上級取得者による学校対抗戦を開催し、生徒の就労に向けた意欲、技能、態度の向上や各参加校の交流を深めようとする優れた試みでした。5人の審査員全員が当協会関係者で、「徳

島ビルメンテナンス協会会長賞」も設けられています。

ウ 特別支援学校理解・啓発セミナー『学校見学会』

支援学校を見学し、学校の取組みや校内実習等に接することにより、生徒の皆さんの働くことへの理解を深めるため、平成28年度から毎年参加しています。

エ 特別支援学校理解・啓発セミナー『企業見学会』

障がい者雇用のモデルとなる企業を見学し、優れた試みに接するなどして協会事業や会員企業の参考とするため、平成28年度から毎回参加しています。

◎上記(ウ)と(エ)は、令和2年度から特別支援学校理解・啓発セミナー『働く力見学会』として再構成されました。

オ 社会福祉(障がい者支援)施設への清掃奉仕

毎年実施してきた社会福祉施設への清掃奉仕で、令和元年度で40回を迎えました。平成30年度からは、全国にほとんど例のない試みとして、清掃作業に支援学校の生徒が参加し、交流・学習・地域貢献を融合した形で「スクラム組んで三方よし」を合い言葉にして実施してきました。

カ とくしまマラソン

平成28年度から、給水ボランティアとして、毎回20人程度参加しています。

キ 精神・発達障害者しごとサポート養成講座

発達障害に関する基礎知識や一緒に働くための配慮などを短時間で学ぶことができる講座であり、平成29年度から毎年参加しています。

ク 徳島県防災訓練

令和元年度に初めて参加しましたが、今年度は参加の機会がありませんでした。

3 ホームページの運用・活用

昨年度同様、次に掲げるHP原則に基づき、多くの皆様のご支援・ご協力をいただき、地域の皆様等に協会の活動状況を具体的で可視的に発信することができました。

- ・地域貢献活動をはじめとする協会活動を積極的に発信すること。
- ・県・教育委員会・福祉関係団体などの連携団体の皆様から見てもお役に立つHPであること。
- ・可能な限り、会員参加型HPとし、会員が愛着の持てるものとする。
- ・オンリーワンとして全国の関係者の方々にも注目されるHPであること。
- ・協会財政の現状を踏まえ、システムの構築、画面の企画制作は自力で行うこと。

その概況は、次のとおりです。

発信件数 40 (40件/52週 ⇒ 0.8件/週) 9 ※詳細は別紙資料

- ・地域連携 11
- ・研修訓練 4
- ・行事案内 4
- ・短信 21
- ・編集室 0

4 その他

他の実績については、次のとおりです。

(1) 総 会

項 目	開催年月日	場 所	内 容
通常総会	2. 5. 29	徳島ビルメン テナンス会館	1. 令和元年度事業報告・収支決算報告・ 監査報告 (第7期) 2. 令和2年度事業計画(案)・収支予算 (案)について (第8期)

(2) 理 事 会

項 目	開催年月日	場 所	内 容
理事会	2. 5. 21	徳島ビルメン テナンス会館	令和2年5月29日通常総会の議案審議 1. 令和元年度事業報告・収支決算報告・ 監査報告 (第7期) 2. 令和2年度事業計画(案)・収支予算 (案)について (第8期)

(3) 四国地区本部代表者会議

項 目	開催年月日	場 所	内 容
四国地区 本部代表 者会議	2. 10. 21	高 松 市	1. 各県協会近況報告 2. 全国協会理事会・運営委員会報告 3. 事務局連絡事項

(4) 会議・講習等

項 目	開催年月日	場 所	内 容
全協総会	2. 7. 29	東 京 都	令和2年度 定期総会 (菊池会長ズーム出席)
会 議	2. 10. 14	徳島ビルメン テナンス会館	清掃作業従事者前期集合研修会水準調 整会議
会 議	2. 12. 18	徳島ビルメン テナンス会館	貯水槽・防除作業従事者研修会水準調 整会議

(5) その他

◆ビルメンテナンス業に関する啓蒙及び普及

ア. 全国協会「月刊ビルメン」の配布

イ. 全協ニュースその他関係図書を紹介

ウ. 各種講習会等の受講を広く募集するため、ホームページに掲載

エ. 会館利用者へのコロナ対策事業（1の（1）のaの事業）について、全国ビルメンテナンス協会より、助成金が支給されました。